

臨床実習後OSCEにおける模擬患者に関する研究

研究分担者 藤倉輝道・日本医科大学・教授  
研究分担者 石井誠一・東北大学・准教授  
研究分担者 榎野吉弘・大阪公立大学大学院医学研究科・准教授

研究要旨

臨床実習後OSCEの模擬患者に求められる資質・能力とその養成、ならびに確保について、今後に向けたシミュレーションを行い課題の抽出を図った。現状、模擬患者団体所属の模擬患者参加が全体の半数以上を占めるものの、教職員、学生の参加も合わせると3割を超えることがわかった。1回の試験に必要な模擬患者数を試算した。一人の模擬患者の担当学生数は最大20名で算出しても、受験者数（試験室の列数）によるが、3課題実施でのべ24名から48名必要となり、1課題の所要時間は休憩時間等を含め500分程度と考えられた。現状調査では、医師か否か、教職員か否かで模擬患者の資質を検討する必要性が認識された。課題によっては医師、教員が担当する方が適しているものもある。模擬患者の確保に向けては、課題内容とも包括的に考える必要が示唆された。

A. 研究目的

臨床実習後OSCEに参加する模擬患者に求められる資質・能力とその養成、ならびに確保について、今後に向けたシミュレーションを行う。

B. 研究方法

すでに運用が開始され、制度設計に関する情報が容易に得られる、臨床実習前OSCEにおける認定標準模擬患者とも対比しつつ検討した。これに際し、本件を扱う共用試験実施評価機構内の医学系OSCE認定標準模擬患者小委員会のメンバー、31名（17大学、3団体）を対象としたインタビューならびに実態調査と、同じく機構内の医学系OSCE評価解析委員会などから提供されるアンケート調査結果等をもとに検討を行った。

（倫理面への配慮）

・本研究においては、個人や組織を直ちに識別出来ない形で各種データを解析する。個人の試験成績や評価結果等も収集するが、個人に生じる新たな負担や予想されるリスクはないことから、文書による説明・同意取得等は行わない。

・本研究の成果は研究報告書として公開されるが、個人や組織が特定されないことがないよう、十分に配慮する。

C. 研究結果

1、臨床実習後OSCE模擬患者アンケート解析結果

本解析結果は医学系OSCE評価解析委員会より提供を受けたもので、2020年度のアンケートを解析対象とし、最終的に48大学、2,501名の模擬患者からの回答を元としている。

①模擬患者の属性は、模擬患者団体所属（55.5%）、教員（11.3%）、医学科学生（9.1%）、事務職員（7.8%）、医学科以外の医療系学生（4.2%）、大学院生（4.2%）などであった。

②模擬患者の種別（身体診察の有無など）については、医療面接および身体診察担当が27.7%、医療面接のみが41.5%、身体診察のみが22.0%、その他無回答などが8.8%であった。

③臨床実習前OSCEの参加経験については、医療面接および身体診察担当の54.9%、医療面接のみの59.4%、身体診察のみの16.2%が1回以上の経験ありと回答した。

④事前説明・勉強会の有用性については、全くそう思わない～非常にそう思う（有用である）の5段階で回答を求めたところ、医療面接群1732名では、そう思う52.4%、非常にそう思う33.1%であったが、身体診察群1244名では、そう思う50.6%、非常にそう思う18.9%でどちらとも言えないが20.3%であった。

2、臨床実習後OSCEにおける必要模擬患者数の試算

医学系OSCE認定標準模擬患者小委員会のメンバーの所属大学の情報を元に、受験者数、列数（試験室数）、課題数、所

要時間、謝金などについて詳細な試算を行った。前提条件として、一人の模擬患者が担当する学生数は、臨床実習前OSCEに準じ20名以下とした。

- ①受験者数は80名～140名が想定される。
- ②必要列数は受験者80名で4列～受験者140名で7列～8列が想定された。
- ③課題数は、現行の3課題（機構課題）をベースに必要模擬患者数を試算した。この際、委員会の見解として臨床実習前OSCEの医療面接と異なり、一人の模擬患者が連続して20名の受験者を担当することについては、試験時間や身体診察の際の負担を考慮すると無理があるとの見解が出された。これを踏まえ、1列で2名の模擬患者が交互に担当することを推奨し、以下の試算をした。3課題を4列で実施した場合2名×4列×3課題で24名が必要となる。受験者の多い大学であれば2名×8列×3課題で48名が1日で必要となる。仮に4課題実施すれば32名～64名、6課題であれば48名～96名必要となる。
- ④所要時間については、1課題16分、受験者数20名で320分となるが、これに入れ替え時間や休憩時間を加えると、3名連続して1セットとして面接後、7分休憩時間、昼休憩60分として501分が必要となる。課題数に応じてこれを並列で行う。
- ⑤模擬患者に対する謝金については、臨床実習前OSCEの医療面接模擬患者1名/1日の標準謝金単価は10,000円である。身体診察も同時に担当する場合、逆に身体診察のみの場合の単価についてはこれと異なる運用が想定される。

### 3、臨床実習後OSCEにおける模擬患者に求められる資質・能力に関する検討

医学系OSCE認定標準模擬患者小委員会のメンバーの所属大学の情報と、先述1のアンケート解析結果を元に模擬患者に求められる資質について検討と課題の抽出を行った。現在運用されている模擬患者の属性は、一般市民など（非医師）、教員など（医師）、教職員など（非医師）、学生に大別された。医師か否かに加え、学生と面識のある教職員か否かが整理上重要となる。さらに彼らが医療面接のみ、医療面接と身体診察、身体診察のみを担当する場合がある。実施後調査の結果から、身体診察の際に何らかの診察所見を表出しなければならない課題と、そうでない課題で求められる標準化のレベルに差があることが指摘された。前者の場合は非医師よりも医師の方に適性があるとの指摘もあった。また、シミュレータの併用にも利があることが指摘された。

## D. 考察

現状では、臨床実習後OSCEに参加する模擬患者の半数以上が模擬患者団体所属

の非医師の一般市民と考えられるが、教職員（大学院生含む）の参加が少なからず見受けられる。この運用の是非も明らかにしなければならない。少なくとも必要人数を考慮すれば、当面これを可とする運用方法を検討する必要がある。

必要とされる模擬患者数を試算した結果、その数は臨床実習前OSCEにおける医療面接模擬患者数を大きく上回る。単純に課題数が臨床実習後OSCEでは3課題であれば3倍の延べ人数が必要となる。また1課題当りの拘束時間が約1.5倍となり、かつ身体診察も担当する場合には模擬患者の負担も大きくなり、一人の模擬患者が担当できる受験者数を上限20名で算定することは無理がある。

臨床実習後OSCEに参加する模擬患者に求められる資質・能力は課題によっては非医師よりも医師の方が標準化をよりの確に行える課題もある。

今回の検討から、臨床実習後OSCEに参加する模擬患者の多くは臨床実習前OSCEの参加経験もあることが解った。医学系OSCE認定標準模擬患者小委員会が培ってきた認定標準模擬患者制度の活用も検討に値する。すでに臨床実習前OSCEの医療面接模擬患者として認定資格を取られている方々に何らかの講習を受けて頂き新たな資格を付与してご協力いただくことも不可能ではない。しかし、先の試算にあるように、3課題で1日当たり24名～48名の模擬患者が必要となると全国で年間のべ2,000名～4,000名必要になる。現在の臨床実習前OSCEの認定標準模擬患者数が約1,000名であること、その確保に約3年を要したことを考えると単純な制度の転用では解決できない。

模擬患者に求められる資質・能力とも深く関わるが、何を評価するために、どのような課題を出題し、どのような模擬患者を必要とするのかを包括的に検討していくことが必要と考えられる。

## E. 結論

2020年度共用試験医学系臨床実習後OSCE 模擬患者アンケート解析の結果、模擬患者（身体診察のみ担当を含む）の属性は、模擬患者団体所属が55.5%で、教職員（19.2%）がこれに続いた。

受験者数、列数、課題数、所要時間などをもとに、模擬患者の負担も考慮し試算した結果、1試験室当りの担当模擬患者3課題で1日当たり24名～48名の模擬患者が必要と試算された。

現在運用されている模擬患者の資質・能力という観点から整理すると、一般市民など（非医師）、教員など（医師）、教職員など（非医師）、学生に大別された。標準化に求められるレベルが異なる

ため、医師か否かという観点、さらに学生と面識のある教職員か否かに留意が必要と考えられた。

課題の中で、評価したい内容とそれに求められる模擬患者の資質・能力を包括的に検討していく必要があると考えられる。

#### **F. 研究発表**

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

- ・ 認定標準模擬患者制度に対する一般市民の心理，藤倉輝道，第 10 回 日本シミュレーション医療教育学会 2022 年 10 月
- ・ OSCE 公的化へ向けたシミュレーション教育の質改善 ICT、VR を活用した診療参加型臨床実習前の臨床教育，早坂明哲，藤倉輝道，横堀將司，第 54 回 日本医学教育学会大会 2022 年 7 月

#### **G. 知的財産権の出願・登録状況**

(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし